

## アソカ講話049

### テーマ「厳しさと素直さ」

小林正観さんは厳しさと素直であることについて次のように述べています。

「厳しさは自分に対する厳しさを指します。自分に対する厳しさとは『自分は未熟なんだから、もっと勉強していこう。死ぬまで学び続けよう』と思い、日々実践していくことです。

何事も素直に受け入れる、それが謙虚さです。人の善意や好意による申し出を100%受け入れる。これは簡単なように思うかもしれませんが、それができるようになると、菩薩の領域だそうです」と。

読書会においてここ2～3年に入職した職員の新鮮な感性に感動することが多い。それは素直な気持ちをまっすぐ表現しているからだ気づいた。初心のある内は、人の好意や善意、指導助言も素直に聞き入れられる。それが、経験を積むと得るものもあるが失うものもある。失うものの最たるものは、もしかしたら「素直」「謙虚」ということかもしれない。素直な人は謙虚である。

素直のバロメーターは「笑顔で挨拶」だと私は感じている。笑顔で気持ちの良い挨拶が出来ている人は、初心忘れず、素直な感性を失わず、今を生き活きとして生きている。そう感じる。